

12月1日

## 新常設展示作品 レアンドロ・エルリッヒ 《建物ーブエノスアイレス》 新しい展示室とともに公開

アートによるまちづくりのプロジェクト Arts Towada の10周年を機に、現代美術館では本年度から新たな常設展示作品を公開しています。

塩田千春《水の記憶》、名和晃平《PixCell-Deer#52》(寄託作品：令和5年9月まで)に続いて、12月には常設展示作品レアンドロ・エルリッヒ《建物ーブエノスアイレス》が、新たな展示室とともに公開されます。新棟の設計者は、既存の建物と同じく建築家・西沢立衛さんです。

今回、作家は故郷のアルゼンチン・ブエノスアイレスでなじみのあるファサード(建物の正面)を選びました。鑑賞者は、鏡の効果によって、重力に逆らうように自由なポーズを建物の表面で取ることができます。鑑賞者が作品の中に入り込むことによって成り立つ作品である一方で、ポーズを取る人々の様子とそれを内包した空間を観察する鑑賞者たちの存在など、鏡を介して複数の視点が存在する作品でもあります。



レアンドロ・エルリッヒ《建物ーブエノスアイレス》  
撮影：小山田邦哉



レアンドロ・エルリッヒ

@guyot

1973年、アルゼンチン生まれ。

ブエノスアイレスとモンテビデオ(ウルグアイ)を拠点に活動。視覚的な構造を生かした作風は、目の前にある現実を捉え理解する能力を探り、見る行為の根本を問い掛ける。

### 12月10日(金)は現代美術館常設展示市民無料デー

マイナンバーカード、免許証や保険証など住所が確認できるものを受付に提示してください。

市民無料デーに合わせて、学芸員が企画展出展作家・作品の解説をします。ぜひご参加ください。

《学芸員による解説》 とき：午前11時～正午 定員：10人(事前予約制・先着順)

※企画展チケットが必要です。

## アーツ・トワダ ウィンターイルミネーション

問商工観光課 ☎ 6773

約30万球の青色発光ダイオード(LED)の光がアート広場全体を幻想的に演出します。

とき 12月17日(金)～令和4年2月14日(月)

午後4時30分～9時

※初日の12月17日(金)は、午後5時50分～点灯式を開催します。

ところ 現代美術館アート広場

